

<p>武士をまとめる最高の地位 102</p>	<p>武士として初めて太政大臣となり、中国と貿易を進めた人物 108</p>	<p>枕草子を書いた人 114</p>	<p>平安時代に平城京から移された都 120</p>
<p>源義経が率いた軍が、平氏をほろぼした戦い 103</p>	<p>源頼朝はこの戦いで平氏に敗れ、伊豆に流された。 109</p>	<p>漢字からできた文字 115</p>	<p>貴族がくらししたやしきの様式 121</p>
<p>源頼朝が開いた政府 104</p>	<p>鎌倉幕府を開いた人物 110</p>	<p>平安時代に生み出された女性と男性の服装 116</p>	<p>平安時代に大きな力をもった人で、世の中のすべてが自分の思い通りになっている意味の「もち月の歌」をよんだ人物 122</p>
<p>○ 領地を保護したり、与えたりすること □ 幕府のために戦ったり、役目を果たしたりすること 105</p>	<p>源頼朝の弟で、平氏をほろぼした人物 111</p>	<p>貴族の生活の様子を描いた絵 117</p>	<p>紫式部が書いた物語 123</p>
<p>北条氏を中心に団結し、幕府のもとに集まった武士が、朝廷の軍を破った戦い 106</p>	<p>鎌倉幕府の将軍の家来となった武士 112</p>	<p>東国(東日本)で勢力をのびた氏族(共通の祖先をもつ血縁集団) 118</p>	<p>清少納言が書いた随筆 124</p>
<p>鎌倉幕府において、将軍に代わって政治を行う最高の役職 107</p>	<p>○ 御家人の取りしまり □ 荘園(公的支配を受けない一定規模以上の私有地)の取りしまり、税の取りたて 113</p>	<p>西国(西日本)で勢力をのびた氏族 119</p>	<p>源氏物語を書いた人物 125</p>

平安京	120	清少納言	114	平清盛	108	征夷大將軍	102
寢殿造	121	かな文字	115	平治の乱	109	壇ノ浦の戦い	103
藤原道長	122	男性:束帯 女性:十二単	116	源頼朝	110	鎌倉幕府	104
源氏物語	123	大和絵	117	源義経	111	○ご恩 □奉公	105
枕草子	124	源氏	118	御家人	112	承久の乱	106
紫式部	125	平氏	119	○守護 □地頭	113	執権	107

<p>スペインやポルトガルといった国々で行った貿易。これにより、鉄砲や火薬がもたらされたり、キリスト教の信者が増えたりした。</p> <p>126</p>	<p>障子やふすま、たたみがあり、現在の和室につながる住宅の様式</p> <p>132</p>	<p>室町幕府を開いた人物</p> <p>138</p>	<p>源頼朝の妻で、頼朝亡き後、幕政の実権をにぎり、尼将軍と呼ばれた人物</p> <p>144</p>
<p>桶狭間の戦いで今川氏を破った。大量の鉄砲や軍船などの武器をそろえた。足利氏を京都から追放し、室町幕府をほろぼした人物</p> <p>127</p>	<p>中国から伝えられたすみ絵(水墨画)を芸術として大成した人物</p> <p>133</p>	<p>征夷大將軍となり、金閣を建てた3代将軍。この人物の時代は、北山文化という、はなやかな文化が栄えた。</p> <p>139</p>	<p>武士の裁判の基準となる法律</p> <p>145</p>
<p>織田信長が行った、市場の税や関所をなくすなど、だれでも商売できるようにした政策</p> <p>128</p>	<p>観阿弥、世阿弥の父子によって大成された伝統芸能</p> <p>134</p>	<p>足利義満は、勘合という証明書を使用してこの国と貿易を行った。</p> <p>140</p>	<p>元の大軍が2度にわたって九州北部にせめてきたこと</p> <p>146</p>
<p>田畑の広さや土地のよしあし、耕作している人物を調べた政策</p> <p>129</p>	<p>民衆の生活を題材に、せりふも日常の会話をういた伝統芸能</p> <p>135</p>	<p>足利義満がつくった鹿苑寺(ろくおんじ)という寺にある建物</p> <p>141</p>	<p>元は、日本を従えようと何度も使者を送ってきたが、元の退け、元との戦いに備えた人物</p> <p>147</p>
<p>百姓たちから刀や鉄砲などの武器を取り上げた政策</p> <p>130</p>	<p>織田・徳川の連合軍が鉄砲を使い武田軍と戦った戦い</p> <p>136</p>	<p>征夷大將軍となり、銀閣を建てた8代将軍。この人物の時代は、東山文化という、簡素な文化が栄えた。</p> <p>142</p>	<p>武士たちが恩賞を得るために必死になって戦ったこと</p> <p>148</p>
<p>明智光秀をたおし、朝廷から関白を命じられ、天下統一を成し遂げた人物。中国(明)を征服しようと2度にわたり朝鮮に大軍を送った。(文禄の役)(慶長の役)</p> <p>131</p>	<p>日本に鉄砲が伝わった数年後に鹿児島に来て、西日本をまわりながらキリスト教の考えを広めた人物</p> <p>137</p>	<p>足利義政がつくった慈照寺(じしょうじ)という寺にある建物。</p> <p>143</p>	<p>鎌倉幕府がたおれた後に開かれた政府</p> <p>149</p>

北条政子	144	足利尊氏	138	書院造	132	南蛮貿易	126
御成敗式目	145	足利義満	139	雪舟	133	織田信長	127
元寇 (文永の役) (弘安の役)	146	明	140	能	134	楽市・楽座	128
北条時宗	147	金閣	141	狂言	135	検地	129
一所懸命	148	足利義政	142	長篠の戦い	136	刀狩	130
室町幕府	149	銀閣	143	フランシスコ・ ザビエル	137	豊臣秀吉	131

<p>関ヶ原の戦いで自分に反対する大名を打ち破り、1603年に朝廷から征夷大将軍に任じられ、江戸に幕府を開いた人物</p> <p>150</p>	<p>武士や百姓、町人などの〇〇が固定化し、これによって住む場所や職業、税の負担が決められた。この制度により、厳しく差別された人々がいた。</p> <p>156</p>	<p>西洋の画家たちにも影響を与えた浮世絵師 代表作の一つに、「東海道五十三次」がある。</p> <p>162</p>	<p>35年かけて「古事記伝」という書物を完成させた人物</p> <p>168</p>
<p>江戸を中心とし、強い力を社会におよぼし250年以上も続いた幕府</p> <p>151</p>	<p>江戸幕府は、初め大名や商人に許可状(朱印状)を与え、外国との貿易を保護した。しかし、外国から宣教師がやってきて〇〇の信者が増えることを心配し、〇〇を禁止した。</p> <p>157</p>	<p>西洋の学問(蘭学)を学び、オランダ語の医学書をほん訳した人物</p> <p>163</p>	<p>百姓や町人は、ききんなどの社会不安や物価の上昇で生活が苦しくなり、おこってこれを行った。</p> <p>169</p>
<p>○徳川家の親せきの大名 □古くからの徳川家の家来の大名 △関ヶ原の戦い後に従った大名</p> <p>152</p>	<p>九州の長崎や熊本で、キリスト教の信者を中心におこった一揆</p> <p>158</p>	<p>杉野玄白や前野良沢が、かいぼう学書「ターヘル・アナトミア」をほん訳し、出版した本</p> <p>164</p>	<p>もと大阪の役人で、まちの人たちを救おうとしない役人を批判し、大阪で反乱をおこした人物</p> <p>170</p>
<p>徳川家康と2代将軍の徳川秀忠が定めた、武士(大名)がしてはいけないことを定めたきまり</p> <p>153</p>	<p>キリスト教を厳しく取り締まり、信者を見つけるために行ったこと</p> <p>159</p>	<p>西洋の学問のこと</p> <p>165</p>	<p>岡山藩は、身分上差別された人々に対して、しぶやあいで染めた無地の木綿以外の着物を着てはいけないとか、雨の日でも、かさをさしたり、げたをはいたりしてはいけないなど、差別を強める命令を出した。それに対して立ち上がったこと</p> <p>171</p>
<p>この人物が将軍のころ、大名が行列を組み、領地と江戸を行き来する制度が整えられた。</p> <p>154</p>	<p>貿易の相手を、キリスト教を広めるおそれのないオランダと中国に限り、貿易船の出入りを長崎に限って認めた政策</p> <p>160</p>	<p>江戸で天文学や測量学を学び、全国を測量して地図をつかった人物</p> <p>166</p>	<p>172</p>
<p>大名が行列を組んで領地と江戸の間を行き来するようになった制度</p> <p>155</p>	<p>歌舞伎や人形浄瑠璃の作者 代表作の一つに、「曾根崎心中」がある。</p> <p>161</p>	<p>仏教や儒教などが中国から伝わる前の日本人がもっていた考え方を研究しようとする学問</p> <p>167</p>	<p>173</p>

本居宣長	168	歌川広重	162	身分	156	徳川家康	150
百姓一揆 打ちこわし	169	杉田玄白	163	キリスト教	157	江戸幕府	151
大塩平八郎	170	解体新書	164	島原・天草一揆	158	○親藩 □譜代 △外様	152
渋染一揆	171	蘭学	165	絵踏み	159	武家諸法度	153
	172	伊能忠敬	166	鎖国	160	徳川家光	154
	173	国学	167	近松門左衛門	161	参勤交代	155